

吉田 稔 筆

平成21年4月 No.89

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

一人ひとりが身近なことから 環境フェア2008パネル展開催

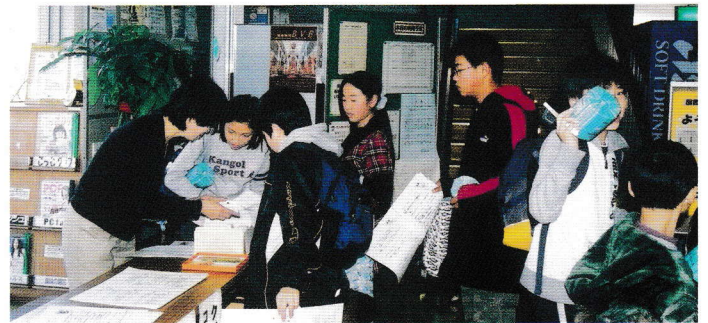
地球環境とのかかわりの中で「私達一人ひとりが出来ることはなにか？」をテーマに環境フェア2008パネル展を平成20年12月6日から13日まで、増尾近隣センターロビーで開催しました。

エコクイズ「CO₂ダイエットについて考えよう」の身近な問題に首をひねる女の子とお母さん、「みんなでごみ減量」や「分別のポイント」「自然エネルギーを暮らしの中に」などパネルに見入る男性。



回収されてワクチンに

また、今回初めての試み「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもにワクチンを！」のコーナーに



私達もエコクイズに挑戦！ 正解、間違い、どっち？

は、主催者の予想を大幅に上回る4858個もが寄せられました。この数はワクチン6人分になります。さっそく柏市社会福祉協議会ボランティアセンターを經由して、エコキャップ推進ネットワークに届けました。

環境部 渡部 新一



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

松野台自治会

私たちの松野台自治会は、約40年前に東急団地並びに隣接地の居住者で結成されました。30年前に創立した増尾西小学校と長ぐつ公園を中心にした増尾台1～4丁目の地域から成り立ち、その学区は増尾西小・酒井根小、土中・酒井根中となっています。

設立当時は、活気に満ちた子供たちの声で溢れ、幼稚園の入園申し込みで徹夜をするほどでしたが、その子供たちも巣立ち、高齢化が進んでいます。

この間、自治会の先輩方のご苦勞により地域内のインフラ整備は進み、集会所も建設されて、安心・安全で住み良い町作りが着々と進みました。しかし歴代の役員方のご尽力にかかわらず、未だ解決されないのが松野台3丁目地域の水害です。昨年も被害に遭い、さっそく市及び県に改善陳情しましたが、予算がない、難工事のため2～3年待つてほしいと

のこと。相変わらずの回答に怒り心頭に発する思いではありませんが、引き続き自治会の皆さんと協力して、事態解決に向けて努力していくつもりです。

日常の活動としては、ブロック内交流会、裁判員制度の勉強会やメタボ予防などの文化講演会、ゴミゼロ運動、防犯パトロールなどですが、なんといっても最大のイベントは、夏祭りです。

以前は、松の実子ども会を中心に、自治会、共栄会、緑寿会が協力し合って進めていましたが、少子化により、現在は自治会が中心となり、ゴジラが登場する夏祭りとして地域内の子供たちばかりか、近隣の子供たちにも好評で、毎年大盛況の名物となっています。

会長 西岡 正登



今年も地区懇談会を開催 住み慣れた町で生き生きと



助け合い、支え合って、住み良い町を……たくさんの智恵を出し合い、熱い論議が交わされました

「誰もがその人らしく住み慣れた地域で生き生きと暮らせるまち柏」の理想実現には、地域の皆さんが連携して「助け合い」や「支え合い」を行う近隣同士の相互理解と協力が必要です。

私たちの住む町をそんな地域にと、今年も地域を3ブロックに分け、平成21年2月15日、2月22日、3月7日に地区懇談会を開催しました。

毎回30名以上の出席があり、役員・世話役などの担い手づくり、身近な助け合い支え合い、ネットワークづくり、見守り災害対策などにつき意見が出され、討議を行いました。

平成21年度より『第2期柏市地域健康福祉活動計画』が推進されます。地区社協部としては、次の『目標』を掲げて活動を進めていきます。

◎身近な助け合い支え合い組織づくり

高齢者の孤独死の防止及びゴミ出し支援などのための見守り団体を立ち上げる。

◎活動をしてくれる担い手づくり

何を担ってもらうか、必要なか、その中でテーマを決めて活動できる人を探す。

◎K-Net活用による地域防災弱者の状況把握

K-Net登録者を増やすことで、災害時に限らず日常支援を必要とする人たちを把握する。

地区社協部 大江 幹

年末夜間防犯パトロール 参加者は54名

平成20年12月27日、歳末恒例の夜間防犯パトロールを柏市防犯交通安全組合増尾支部と増尾地域ふるさと協議会防犯防災部の共催で実施しました。

午後6時、防犯腕章やたすきを着用して、懐中電灯などの防犯グッズを携帯した10町会・自治会からの参加者

54名は、増尾駅交番の前に集合しました。

警察官から地域内の犯罪状況や連絡事項の伝達を受けると、参加者たちは松野台地区、加賀地区、新柏地区、増尾地区の4方面に分かれて交番前を出発し、1時間余にわたって各地域をパトロールしました。

防犯防災部 斉藤 忠蔵

地域福祉視察研修 ながうらワークホームへ

地区社協部の活動の一環として、地域福祉視察研修が平成21年2月23日に行われ、勉強と交流を目的に、参加者32名が、袖ヶ浦市の「ながうらワークホーム」を訪問しました。

この「ながうらワークホーム」は知的障害者授産施設として昭和45年に開設。平成7年に建替工事を行い、現在は入居者90名、通所者19名、短期入所者8名の利用者が、社会自立を目指して、地域生活に向けた基本的な生活援助（生活の仕方や技術・知識）と、職業生活に向けた実践的なトレーニング（職場実習）などの指導を受けています。



社会自立を目指して、職場実習にも精が出ます

この施設では、平成7年から現在までに約400名の入所者を地元に戻し、そのうち40パーセントが職に就き、その定着率は83パーセントになるとのことですが、やはり最近の景気後退により、障害者の雇用を取り巻く環境は厳しさをましているのも事実です。しかし、そうした中でも利用者たちは、自立を目指して一生懸命励んでいました。

地区社協部 秋和 孝志



わかりやすく丁寧な説明に、質問にも熱が入ります

魅せました！ 熱唱！ 熱演！

声援あふれる芸能発表大会

地域の皆さんの親交を深めるために、毎年開催されている芸能発表大会が、今年も3月1日に開かれました。

この日、あいにくの寒空にもかかわらず、増尾近隣センター体育室は、初出場の松野台自治会緑寿会合唱サークルのメンバーをはじめ、毎回会場を沸かせる顔なじみの方々など51組191名の出場者と多数の来場者で熱気に

包まれました。

出場者が楽しんで舞台に立てるように息の合った名調子で司会をしてくださったのは、長田英郎さんと吉沢八重子さんのお二人。緊張する出場者には温かい言葉をかけたり・・・見事な進行に観衆の声援もいっそう盛り上がりました。

文化体育部 真崎 博



司会の息もピッタリ
長田さんと吉沢さん



初出場。素晴らしいハーモニー、心あられる歌声です



毎度おなじみ、会場を興奮の渦へと！



出場中の最高齢でしょうか。熱唱です



無事終了！ ホット一息

超高齢社会を目前に

消費生活コーディネーター 主催の講演会

春一番の到来した平成21年2月13日に、藤心近隣センターにおいて、柏市消費生活コーディネーター南ブロック主催による柏市保健福祉部長木村清一氏の講演会「介護保険とは」を開催しました。

介護という切実なテーマと木村さん人気が相まって、予想の倍以上106名参加という盛況で、増尾地区からも多数の来場者がありました。

まもなく65歳以上が20パーセントを超える超高齢社会を迎える柏市の現状、要介護保険認定の手続き、介護サービスの

種類など、話の内容は多岐にわたり、さらにご自身の介護経験を踏まえ、行政の責任、家族や地域の協力の大切さを痛感されていることなど、熱気溢れる講演でした。

この講演を主催した柏市消費生活コーディネーター南ブロックとは、南部、藤心、光ヶ丘、酒井根、増尾の5地区からなる集まりで、年1回持ち回りで講演会を行っています。今後も講演会、消費者講座、パネル展などを企画しています。

増尾地区消費生活コーディネーター

嶋田 由紀江 吉尾 薫子



体験を交えての講演は大好評

アッ！ 地震！ 火を消しますか？ 逃げますか

増尾地区防犯交通安全組合の視察研修が平成21年2月19日に実施されました。

参加者18名を乗せ松戸市の千葉県西部防災センターへ向ったバスは、まず柴又帝釈天で休憩、寅さん記念館などを見学、昼食後いよいよ目的地へ出発。

まず女性職員から説明を受けると体験コーナーへ。各人個室でビデオによる防災クイズに挑戦。家で主婦が炊事中、コンロにはてんぷら鍋が。そのとき地震発生！ 火を消しますか？ 逃げますか？ あなただったらどうします。なにもしないで避難する、が正解。意外でした。

震度5と震度7の地震体験や風速30メートルの暴風雨もカッパを着て体験しました。そのほか、緊急電話連絡対応では、交通事故目撃時や火災発生時の119番通報の要領、煙の中からの脱出法、消火器での初期消火など学ぶことがたくさんでした。

地震などの発生で一時避難が必要な場合、ぜひ守ってほしいことは①ガスの元栓を締める、②電気のブレーカーを落とす（災害が復旧した時に通電されたヒーターなどが加熱されて火災が発生することがある）です。たいへん勉強になりました。 総務広報部 木村 宏可

青色防犯パトロール 加賀町会が開始

「アレ、パトカーとはちょっと違うな！」

屋根に青色回転灯を点滅させ、両側のドアには「柏市防犯交通安全組合、自主防犯パトロール中」のステッカーをはった車両が、町の中をゆっくりと走行するのをご覧になったことはありませんか。これが青色回転灯装着車両による防犯パトロールです。

千葉県警察本部長より、このパトロールを認められた加賀町会に、平成21年2月13日、柏市防災安全課から青色回転灯と防犯パトロール用表示ステッカーが貸与されました。

加賀町会では、これらを装着した車両で、町会域内だけでなく、増尾地域ふるさと協議会管内の全地域を、小学校の下校時を中心にパトロールしていきます。

老人クラブの表彰を6名が受賞

平成21年1月23日、第27回柏市老人クラブ連合会大会が、アミュゼ柏クリスタルホールで開催されました。

この大会で、長年にわたり老人会の育成と発展に尽力された方々が、その功績に対して活動功労者表彰を受けました。

土支部では6名の方が受賞されました。おめでとうございます。

友野 忠義さん（増尾ダイヤモンドクラブ会長）

井藤 千枝三さん（増尾南ヶ丘クラブ）

千代間 新五さん（増尾ダイヤモンドクラブ）

栗原 実さん（加賀寿楽会）

北村 桂子さん（松野台緑寿会）

辛島 順子さん（シルバー新柏）

昭和40年の増尾駅

ひよんなことから、懐かしい写真に出会う機会を得ました。

それには木造平屋の増尾駅舎が写っています。そして立てかけられた看板には、成田山

初詣の会員募集の期日が「昭和40年1月9日」とかすかに読み取れます。

一面、山と田んぼばかりであった今の加賀地区が、東急不動産によって開発されたのは、この頃だったと記憶しています。

それ以後、周辺には、東映団地、第一住宅、東武なかはら団地など続々と住宅地が造成されて、駅勢圏内の人口も増え、乗降客も増加しました。

その結果、現在の増尾駅は、皆さんもご承知のように橋上駅舎となり、エスカレーターも設置されています。

東武鉄道によると、平成19年度の増尾駅の1日平均乗降客は13,727人であるといえます。ちなみに近隣駅の乗降客は新柏駅19,167人、逆井駅14,110人とのことです。

この懐かしい写真を提供してくださったのは、廣幡八幡宮司の岩立俊比古氏です。この写真をご覧になって往時をしのばれる方も多いのではないのでしょうか。

お悔やみ申しあげます

柏市増尾台の酒井秀哉さんは平成21年1月31日に心筋梗塞のためご逝去されました。

酒井さんは生前、木戸前町会会長および増尾地域ふるさと協議会の厚生部長として、ご活躍されました。そのご尽力に対し深く感謝し、心からご冥福をお祈り申しあげます。

